

目標年度	令和12年度
計画期間	令和6-12年度

みやざき茶振興方針

令和6年3月

宮崎県

目次

1	趣旨	1
2	本県茶を巡る情勢	1
3	解決すべき課題と目指すべき方向性	3
4	振興方針の目標	3
5	実施すべき対策	4
6	ロードマップ	5

1 趣旨

リーフ茶の消費減退に伴う茶価格の低迷や担い手の高齢化など、生産現場を取り巻く環境は厳しさを増していることから、みやざき茶の需要拡大や生産力の強化に向けて早急に対策を講じることが必要となっている。

こうしたことから、生産者の所得向上及び安定した経営の実現を目指すため、令和2年に改訂された国の「茶業及びお茶の文化の振興に関する基本方針」に基づき、みやざき茶振興方針を策定する。

なお、当方針は第八次宮崎県農業・農村振興計画の茶振興に関する具体的な行動計画として位置づけ、計画の期間は令和6年度から12年度の7年間とする。

2 本県茶を巡る情勢

(1) 茶の消費動向の変化

①国内の消費動向

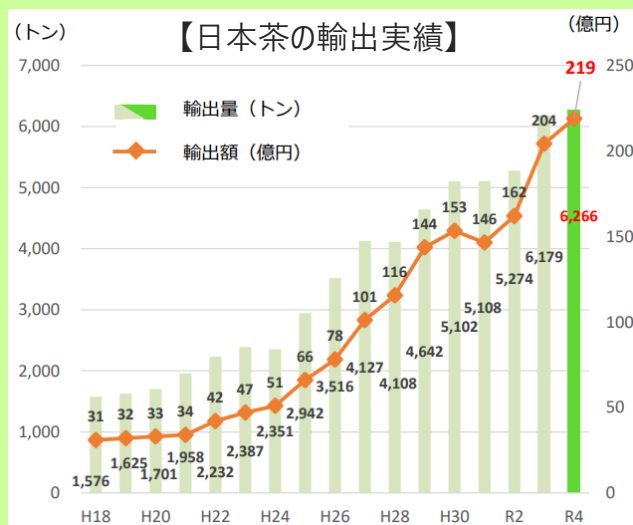
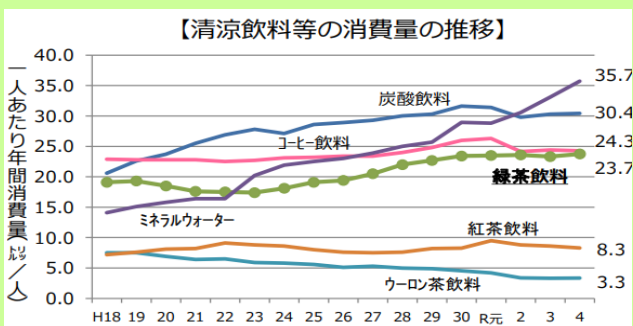
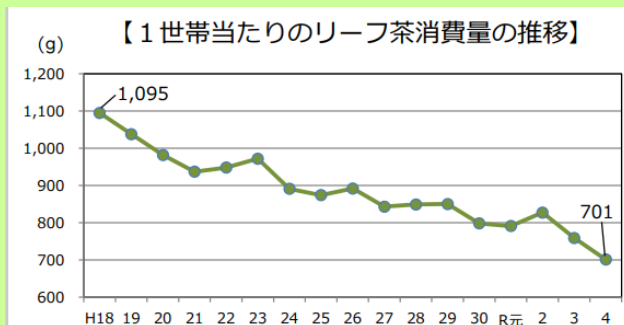
- ・一世帯あたりのリーフ茶消費量は過去10年間で約2割減少 (H25 892g → R4 701g)
- ・緑茶飲料(ペットボトル)の消費は堅調だが、ここ数年は横ばい傾向
- ・消費ニーズの多様化により他飲料との競争が激化

②海外の消費動向

- ・日本茶の輸出量は増加傾向であり、令和4年は輸出量(6千t)、輸出額(219億円)、ともに過去最高
- ・なかでも、有機栽培茶の輸出量は、過去5年間で約3倍に増加 (H29 446t → R4 1,342t)
- ・形状別では「粉末状の緑茶」の需要が高く、令和4年の平均価格はリーフ茶の約2倍 (粉末茶 4,629円/kg、リーフ茶 2,322円/kg)
- ・輸出先国は、アメリカ(34%)とEU(13%)がメインであるが、近年は東南アジアや中東地域等への輸出量も増加

(2) 社会情勢の変化

- ・気候変動によるカーボンニュートラルの取組の推進や「みどりの食糧システム」戦略の策定
- ・ウクライナ情勢や円安等による燃油や農業資機材の価格高騰
- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進



※グラフは、農林水産省「茶をめぐる情勢」より抜粋

(3) みやざき茶の流通

① 主な流通経路

- ・主要な流通経路は市場出荷で、生産された荒茶の約6割が市場を經由
- ・近年では価格の変動を受けにくい直接取引の割合が増加傾向 (H25 27% → R4 36%)

② 輸出

- ・輸出量は年々増加傾向にあり、令和4年の輸出量は211t、輸出額約4億円と過去最高
- ・形状別の輸出量は粉末茶が80t、リーフ茶が131tであるが、平均価格は粉末茶がリーフ茶の約1.8倍 (粉末茶 2,559円/kg、リーフ茶 1,465円/kg)
- ・主な輸出先はアメリカ(54%)とEU(41%)で、全体の9割以上を占有

(4) 生産概況

- ・本県は、荒茶生産量全国第4位の産地
- ・平坦地域は普通蒸しや深蒸しの煎茶、中山間地域は釜炒り茶に加え烏龍茶、和紅茶等地域の特色を活かした多種多様な茶が生産
- ・10年前と比較して、栽培面積、生産量ともに約2割減少、農家戸数は約4割減少
- ・生産者の約6割が60歳以上と高齢化が進行

【栽培面積・生産量・産出額・農家戸数の推移】

	H25	H30	R4	R4/H25
栽培面積 (ha)	1,540	1,390	1,230	80%
生産量 (t)	4,100	3,764	3,000	73%
産出額 (億円)	32	31	24	75%
農家戸数 (戸)	698	567	435	62%

【茶園平坦率と乗用摘採機導入率(R4年度)】

	平坦茶園率 (傾斜度0~5度)	乗用摘採機の 導入割合 (%)
平坦地域	93.1	97.6
中山間地域	44.0	44.9

(5) 生産基盤

① 茶園や機械化の状況

- ・平坦地域では、平坦茶園率が93.1%と非常に高く、乗用型機械の導入により効率的な茶園管理を展開
- ・中山間地域では平坦茶園率が44%と低く、生産の効率化は限定的
- ・全体の7割以上が、年間処理量100t未満の小規模工場
- ・茶価格の低迷や資材価格の高騰等により、施設や製茶機械の更新が厳しい状況

【処理能力別の茶工場数(R4年度)】

	茶工場数	割合 (%)
処理量100t以上	43	22.3
処理量100t未満	150	77.7

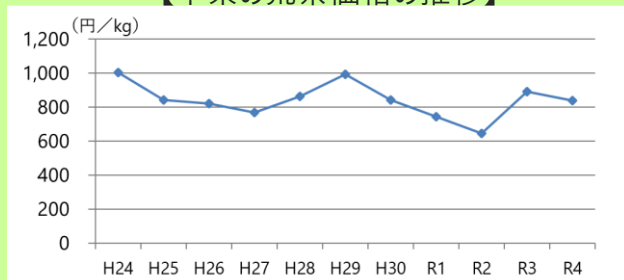
② 品種および樹齢

- ・品種構成は「やぶきた」が約5割を占め、樹齢31年以上の老朽化茶園の割合も増加傾向

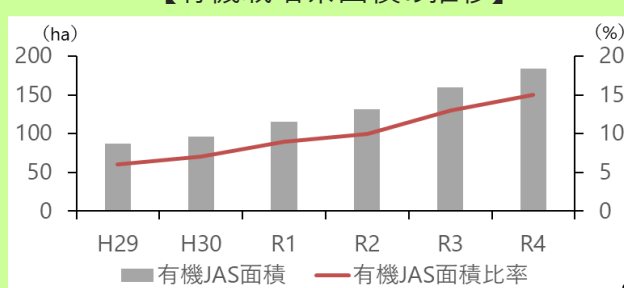
③ 有機茶栽培

- ・有機茶栽培面積は5年間で約2倍に増加 (H29 87ha → R4 184ha)
- ・有機茶栽培面積が、県内茶園面積の約15%を占め、占有率では全国第一位

【本県の荒茶価格の推移】



【有機栽培茶面積の推移】



3 解決すべき課題と目指すべき方向性

【解決すべき課題】

(1) 多様な消費ニーズに対する販路が未確立

- ・国内外のニーズや流通情報の把握が不足
- ・契約販売等新たな取引に対応可能な体制づくりが不十分
- ・産地の強みや地域資源の活用が不十分
- ・需要が伸びている海外市場へのアプローチが不足

(2) 求められる品質やニーズへの対応力の不足

- ・荒茶品質の低下による入札価格の低迷
- ・粉末茶やドリンク原料茶などの需要に対応する生産技術が不十分
- ・有機栽培茶の収量・品質が不安定

(3) 担い手の減少や生産コストの上昇による経営環境の悪化

- ・茶価格低迷や高齢化に伴う離農
- ・慢性的な労働力不足
- ・生産コストの上昇による農業所得の減少

【目指すべき方向性】

- ・データ分析システムの導入
- ・需要に対応できる技術力向上
- ・有機茶生産の拡大

- ・契約販売や直販の推進
- ・輸出の拡大

所得の向上
経営の安定

- ・生産の共同化
- ・有機茶生産環境整備
- ・複合品目の導入

技術力強化

販売力強化

経営基盤強化



4 振興方針の目標

(1) 契約販売取組数

令和4年：1取組 → 令和7年：3取組 → 令和12年：6取組

(2) 有機JAS認証茶園面積

令和4年：184ha → 令和7年：250ha → 令和12年：350ha

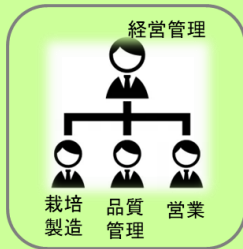
5 実施すべき対策 ※実施すべき対策は、地域の特徴や目指す方向に応じた取組を実施

(1) 儲かる茶業経営の実現に向けた販売力の強化

① 契約販売の推進による収益の安定化

(ア) 契約販売に挑戦する生産者への組織化と運営力の強化

- ・地域の実情や事業戦略に沿った組織体制の整備や収益シミュレーションへの支援
- ・経営力の向上に向けた研修やコンサルの実施支援



継続的な
契約の実現

〔 組織構造・構成メンバー
人員配置・役割分担 等 〕

〔 組織内マネジメント力
取引先との商談・交渉力 〕

(イ) マーケット情報の把握と販売先とのマッチング支援

- ・流通に関する情報の収集と提供
- ・展示会や商談会への出展支援

② 茶種の特徴や地域の強みを活かした直販の推進

(ア) 市場分析によるターゲットの明確化や差別化戦略の推進

- ・マーケティング戦略構築のための研修やコンサルの実施支援
- ・SNSやEC等を活用した集客や取引拡大の推進

(イ) 他産業との連携や地域資源の有効活用によるブランド力の強化

- ・観光や文化など地域資源を活かしたイメージ戦略の推進



(商品付加価値の向上)

③ 輸出の促進による販路の拡大

(ア) 輸出における流通実態の把握と販売の促進

- ・アメリカ・EUを中心とした流通情報の収集
- ・輸出のニーズや規制に沿った販売戦略の作成支援

(イ) 有機JASなど海外実需者が求める第三者認証取得の推進

- ・海外における認証取得情報の把握と取得推進



(有機JAS)



(レインフォレストアライアンス)



(USDA ORGANIC)

(2) 生産技術の強化による品質・付加価値の向上

① 販売力向上に向けた荒茶品質の改善

(ア) 生産及び販売データを活用した生産指導体制の確立

- ・データ収集と分析システムの開発・導入
- ・分析結果に基づく生産指導体制の確立

(イ) 被覆の推進による高品質茶生産の強化

- ・長期被覆に耐えることのできる樹勢向上のための栽培管理技術の開発と普及
- ・被覆作業の効率化や労働負担軽減を図るための技術開発と普及



② 実需者ニーズに対応できる生産技術の強化

(ア) 契約販売に対応可能な品種・栽培・加工技術の開発・普及

(イ) 烏龍茶や和紅茶など特徴を活かした茶種の技術力強化

- ・取引先が求める規格や品質の情報収集
- ・ニーズに対応した品種や生産技術の開発と普及

(ウ) 有機茶の栽培技術体系や経営指針の作成と普及

- ・有機茶生産に関する品種や生産技術の開発と普及
- ・有機茶生産にかかる経営指標の作成

(3) 産地体制の構造改革による経営基盤の強化

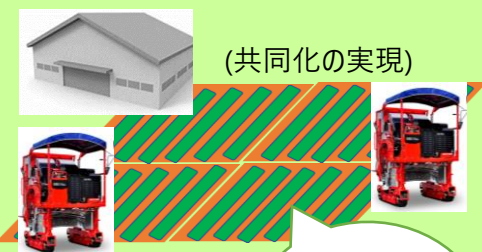
① 共同化の推進による経営力の向上

(ア) 茶園マップ等を活用した優良茶園の集積・集約の推進

- ・地域の茶園状況の把握と将来予測の推進
- ・集積すべき優良茶園の選定と生産戦略の作成支援

(イ) 栽培から加工における共同管理体制モデルの構築

- ・地域の課題に応じた共同管理体制構築に向けた検討推進
- ・モデル実現に向けた収益シミュレーションの実施や生産マニュアルの作成支援



② 生産環境の整備による有機茶の安定供給

(ア) 有機茶の海外規制に対応できる産地体制の構築

- ・ドリフト対策等、海外規制に対応可能な栽培管理の整備支援
- ・HACCPの考えに基づく製造・加工管理の推進

- ・茶園の集約
- ・茶工場再編
- ・機械の共同利用
- ・作業の分業化

③ 様々な経営リスクに対応可能な取組の推進

(ア) 茶業と両立できる複合品目モデルの確立と円滑な園地転換

- ・園地転換にかかる抜根及び土壌改良支援
- ・複合品目の選定と収益性の検討及び技術の習得支援

(イ) 各種セーフティネットへの加入促進

- ・情報の収集及び加入促進

6 ロードマップ

振興方針の具体化を目的に、実施行程と役割分担を明確化するためロードマップを作成。
農産園芸課が全体を総括し対策を進め、実施行程（取組事項と実施時期）と役割分担（責任者◎）は各対策を中心となって進める機関を示す。

(1) 儲かる茶業経営の実現に向けた販売の強化

対策		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	農園	局	普及	試験場	市町村	JA	その他	
① 契約 販売 の推進	(ア) 組織化支援 及び 運営力の強化	組織体制の整備							○	○	◎		○	○		
		研修・コンサルの実施							○	○	◎					民間企業
	(イ) マーケット情報把握 及び マッチング	情報の収集							○					◎		
		商談会等への出展								◎					○	
② 直販の 推進	(ア) ターゲット明確化 及び 差別化戦略	研修・コンサルの実施							◎	○	○		○	○	民間企業	
		SNSやEC 販売の活用										○		◎	○	
	(イ) ブランド力強化	イメージ戦略の推進								○	○		◎	○	・民間企業	
③ 輸出の 推進	(ア) 流通実態把握 及び 販売戦略作成	情報の収集							○					◎	・農業流通 ブランド課 ・県外商社 ・海外バイヤー	
		販売戦略作成							○	○	◎				○	
	(イ) 第三者認証取得	認証制度の取得推進							◎					○	農業普及技術課	

(2) 生産技術の強化による品質・付加価値の向上

対策		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	農園	局	普及	試験場	市町村	JA	その他	
① 荒茶品質 の改善	(ア) データ活用による 指導体制の確立	分析システム構築									○	○		◎		
		生産指導体制確立								○		○	○	◎		
	(イ) 被覆の推進	樹勢向上の技術開発														
		効率的な被覆技術開発										◎	○		○	
		技術普及														
② 実需者ニーズ に対応できる 生産技術力 の強化	(ア), (イ) 技術開発 及び品質安定化	規格や品質の情報収集							◎						◎	・県外商社 ・メーカー 等
		品種や生産技術の開発														
		技術普及										○	◎			
	(ウ) 有機茶の技術強化 及び 経営指針作成	有機茶の特徴や製造特性の解明														
		技術開発及び品種改良										○	◎			・有機茶 先進農家 ・農業普及 技術課
		技術普及														
		経営指標の作成								○	◎					

(3) 産地体制の構造改革による経営力の向上

対策		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	農園	局	普及	試験場	市町村	JA	その他	
① 共同化の 推進	(ア) 優良茶園の 集積・集約	茶園状況把握 将来予測								○	◎		○	○		
		茶園選定								○	○	◎		○	○	
		生産戦略構築														
	(イ) 共同管理体制 モデルの構築	共同管理体制 の検討								○	○	◎		○		
			収益シミュレーション 生産マニュアル作成							○	◎		○	○	民間企業	
② 有機茶の 安定供給	(ア) 海外規制に対応 できる産地体制 の構築	(2)-②-(ウ) 有機茶技術の強化			栽培管理の整備					○	○	◎	○	○	○	・農業普及 技術課 ・取引商社
					HACCP対策						○	◎		○	○	
③ リスク対応 に向けた取 組の推進	(ア) 複合品目モデル の確立	改植事業での支援		抜根及び土壌改良						○	○	○		◎		
		複合品目選定		技術習得支援							○	○	◎		○	
	(イ) セーフティネット への加入促進	情報の収集及び加入促進								◎	○			○	○	